

商工新聞読者と会員増やして、強く大きな民商を次世代に!!

名古屋北部民商ニュース

2019年9月2日(月)発行

No.342

名古屋北部民主商工会

名古屋市北区大野町三丁目19番地

TEL (052) 915-8111 FAX (052) 915-8114

E-MAIL jimukyoku@hokubuminsho.st1.jp

人事異動後の税務調査始まる 調査理由は上司に聞いて!?



人事異動後の税務調査が始まりました。
8月19日に対策会議を開催し、納税者の権利と調査にあたっての心構えを学びました。
8月22日(木)午後、平安支部のIさん(ハウスクリーニング)の税務調査があり、橋本支部長と大谷副会長、事務局が立会いました。
冒頭、改めて事前通知の11項目について通知を受け、その後、今回の調査の理由を聞いたと、上席が「上司の指示で調査に来ているだけ。理由は聞いていない」と回答。
さらに追及すると、「調査理由は上司(統括官)に聞いて下さい」と逆ギレ。「9月の税務署交渉で統括官にも確認しますよ」と念を押すと「どうぞ」と開き直り、Iさん

ん含め全員が啞然となりました。
その後も、「理由を明らかに」「知らない」と押し問答に。
結局、次回までに上司に確認してIさんに理由を伝えることになりました。
Iさんは「初めての調査で不安でいっぱいでした。仕事を休んで立会ってもらい、心強かったです」と話しています。

第65回日本母親大会IN静岡

8月24日、25日の2日間、グランシップを会場にのべ9千人の参加で開催され、名古屋北部民商婦人部から加納さん(24日)、三浦さん、松原局長の3人が参加。愛婦協全体では43人の参加でした。
2日目の記念講演は、富田宏治さん(関西学院大学教授)と浅倉むつ子さん(早稲田大学名誉教授)の2つの講演が同時に行われましたが、富田さんの「ビキニ被災から65年、核兵器のない平和な未来を」に参加しました。
富田さんは「ヒロシマ、ナガサキの被爆者のなかで、一

番若い胎内被曝の被害者も後期高齢者。被爆者の皆さんに核兵器のない世界を見せてあげたい。それには時間がありません。しかし、私たち一人ひとりが集めた署名が、核兵器禁止条約に実り、現在25か国が批准し、50か国を超える」と施行される。2020年を核兵器をなくす年に」と訴えられました。
母親大会と原水禁大会の発祥の地にふさわしく、第5福竜丸の悲劇についても感動的な語りで、認識をあらたにすることができました。
三浦さんは「いろんな問題について学ぶことができて、



来てよかったと思いました」と感想を語っていました。

名古屋の国保と高齢者医療・介護保険をよくする署名スタート集会

8月21日(水)夜、「名古屋市の国保と高齢者医療をよくする会」主催の署名スタート集会が開かれ、民医連、保険医協会、市職労、年金者組合、民商など各団体から参加。

はじめに、保険医協会の日下さんと名古屋市議団の沢田さんから報告。日下さんからは、一人当たりの保険料が、84年39,020円だった17年には95,239円と2.4倍になっていること、反対に加入世帯の平均所得は84年179万円が17年109万円と61%に減少していること、今年はさらに平均保険料が一人当たり3,200円値上がりしたことなどが報告されました。沢田さんは「名古屋市国保は、減免制度など優れた点もある。むだな事業の削減や5%減税の廃止により、こどもの均等割りの廃止など、要求していきたい」と語りました。「高すぎる国保料を下げしてほしい」、という声が中小業者から上がっています。民商として、この秋に、全会員に働きかけて署名を積み上げましょう。

毎月15日までに集金して班、支部の役員に届けてください。
会費の集金は15日80%、月末100%になるようご協力を!!

名古屋北部民商の
ホームページはコチラ

